

## 総合大雄会病院を受診の皆様へ

### 研究へのご協力をお願い

#### 子宮頸部異形成に対する子宮頸部レーザー蒸散術または円錐切除術の効果に関する研究

##### 1. 研究の対象

2020年1月1日～2025年12月31日に当院婦人科にて子宮頸部レーザー蒸散術または円錐切除術を施行された方です。

##### 2. 研究目的・方法・研究期間

子宮頸部異形成の代表的な治療方法は子宮頸部円錐切除術ですが、出血もほとんどない低侵襲の代用法として、病変部を焼灼するレーザー蒸散術が行われる場合もあります。しかし、円錐切除術と比較してレーザー蒸散術は病変部の組織標本が得られず手術時の病理診断ができないこと、再発リスクが高いことから、レーザー蒸散術を行うべきかどうかの判断が重要となります。また、円錐切除術後は断端陽性例で再発と遺残評価が重要です。本研究は、当院で行った子宮頸部レーザー蒸散術または円錐切除術を施行した症例を後方視的に検討することで再発、遺残、追加治療の有無に関連する因子を明らかにすることを目的としています。

方法としては既存の診療録情報を用いて行います。研究対象者に対して新たな侵襲や介入は行いません。収集する情報は診療上既に取得されている範囲に限定し、研究に使用する際には個人が特定できないよう匿名化（連結可能匿名化）を行います。

研究期間は倫理委員会承認日～2027年3月31日を予定しています。

##### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

用いる情報としては年齢、BMI、既往歴、妊娠歴、頸部細胞診の病理診断、CIN grade、HPV感染の有無、再発の有無、遺残の有無、追加治療の有無、等です。

##### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：〒491-8551 愛知県一宮市桜一丁目9番9号

電話：0586-72-1211（代表）

研究責任者：

総合大雄会病院 産婦人科

田代 孔